

現代女性の消費意識と生活価値観

—何にお金や手間ひまをかけているか—

- ☆ お金や手間ひまをかけているのはグルメとレジャー
- ☆ 優先度1位はカジュアルなファッション
- ☆ 若い世代は外見への投資、年齢の上昇と共に内面への投資がアップ
- ☆ 20代は外食優先、30代からは自宅での食事を優先
- ☆ 40代からは、【化粧品】への優先度がぐんと下がる傾向に。
- ☆ ファッションへの投資は働く女性がやや高い傾向に。

2006年9月21日

ポーラ文化研究所

(担当：北脇／立川)

.目的

現代女性が日々の生活の中で、何を選択し消費しているのか、また年齢やライフスタイルによって、その価値観にどのような違いが現れるのかを明らかにする。

.調査概要

調査地域：日本各地（北海道、東北、関東、中部、近畿、四国、九州）

調査対象者：上記エリア内に居住する20～59歳の女性 208人

年齢構成

| <u>サンプルデザイン</u> | <u>年齢層</u> | <u>(単位：人)</u> |
|-----------------|------------|---------------|
| | 20～24歳 | 20 |
| | 25～29歳 | 30 |
| | 30～34歳 | 18 |
| | 35～39歳 | 36 |
| | 40～44歳 | 29 |
| | 45～49歳 | 22 |
| | 50～54歳 | 28 |
| | 55～59歳 | 25 |

属性

| <u>サンプルデザイン</u> | <u>属性</u> | <u>(単位：人)</u> |
|-----------------|-----------|---------------|
| | フルタイムOL | 49 |
| | パートタイム | 42 |
| | 自営業 | 6 |
| | 専業主婦 | 93 |
| | その他 | 18 |

調査方法：インターネット調査

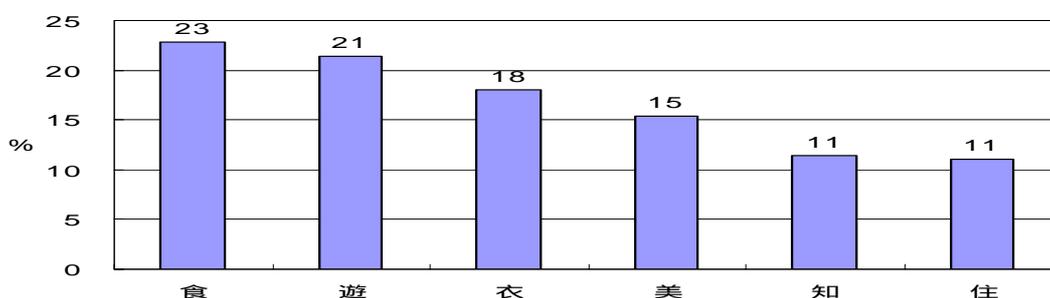
調査期間：2006年6月

調査結果

女性のライフスタイルが多様化している中で、ファッション、グルメ、美容など、様々な選択肢の中から、日々何を選択し消費しているのかがわかり、またそれが、年齢やライフスタイルによって違いがあることがわかりました。

お金や手間ひまをかけている事柄（全体）

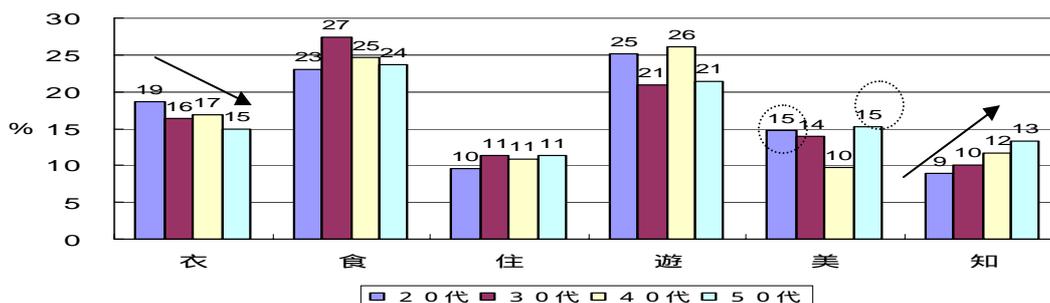
お金や手間ひまをかけている事柄を【衣（ファッション）】、【食（グルメ）】、【住（インテリア）】、【遊（レジャー）】、【美（美容）】、【知（教養）】の6つの分野に分け、合計100%になるように、回答してもらいました。



割合の高い順に並べると、【食】、【遊】、【衣】、【美】、【知】、【住】の順になっています。現代の女性たちは、人生の楽しみやプライベートの充実を、とくに【食】と【遊】に、また次いで【衣】や【美】の分野に見出していることがわかります。

お金や手間ひまをかけている事柄（年代別）

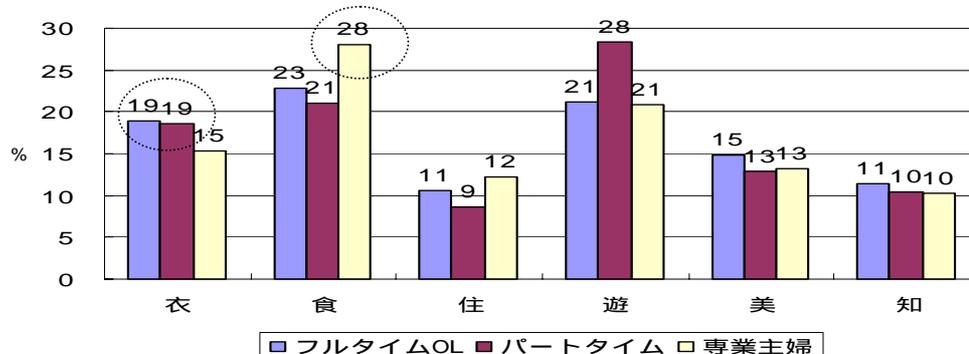
さらに、と同じ質問を20代～50代の年代別に見てみました。



【衣】分野への投資率は、20代が、(19%)とトップで、その後30代から50代にかけて、年齢と共に、少しずつ割合が下がっていきます。逆に、【知】分野は、20代前半は(9%)ですが、50代では(13%)と、年齢が高くなるにつれて徐々に上昇していく傾向にあります。若い世代は、ファッションといった外見への投資率が高く、年齢が高くなるにつれて、知識や教養といった内面への投資率が高くなる傾向がうかがえます。しかし、【美】分野では、20代と50代で投資率が同じという興味深い結果となっています。

お金や手間ひまをかけている事柄（ライフスタイル別）

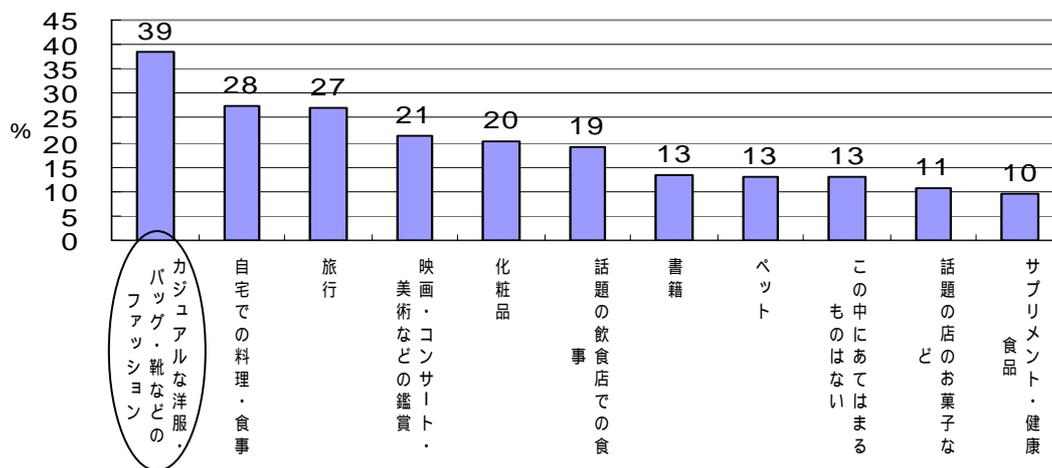
引き続き、この質問を、【フルタイム OL】【パートタイム】【専業主婦】の3つのライフスタイル別に見てみました。（【自営業】に関してはサンプル数が少ないため分析から除外しています）



【衣】分野に関しては、【フルタイム OL】が（19%）と最も高く、次いで【パートタイム】、【専業主婦】の順になっています。ファッションへの投資は、【専業主婦】よりも働く女性たちの方が、若干高くなっているようです。逆に、【食】に関しては、【専業主婦】が、【フルタイム OL】や【パートタイム】よりも、高い傾向がみられます。

お金や手間ひまをかけている事柄（全体、複数回答）

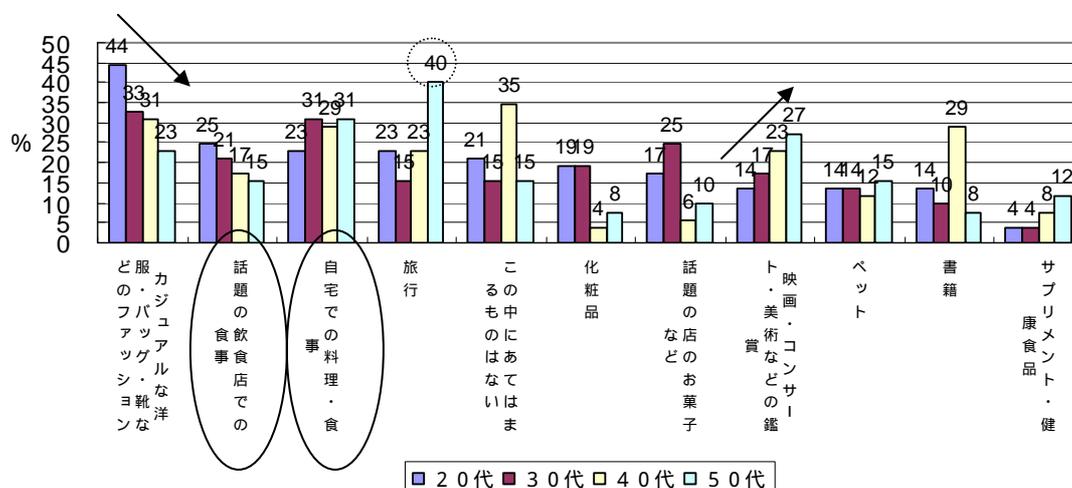
お金や手間ひまをかけている事柄を、さらに29の項目に分け、あてはまるものを複数回答で、優先度の高い順にトップ3まで選んで回答してもらいました。



全29項目のうち、優先度トップ10にあがったものが、上記の項目です。全体の傾向としては、【カジュアルな洋服・バッグ・靴などのファッション】が（39%）で、圧倒的にカジュアルなファッションへの優先度が高いことがわかりました。

お金や手間ひまをかけている事柄（年代別、複数回答）

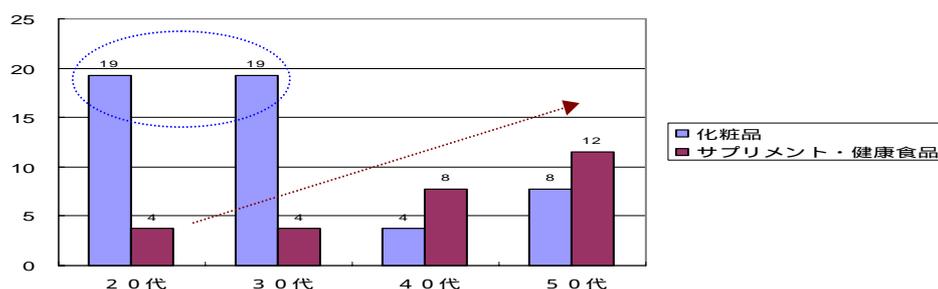
で、トップ10にあげられた項目をさらに年代別に見てみました。



【食】分野に関する項目で、【話題の飲食店での食事】と【自宅での料理・食事】を比べてみると、20代までは外食に優先度が高く、30代以降、外食よりも自宅での食事に優先度が高くなる傾向がみられます。また、ファッションへの優先度は20代が圧倒的に高く、その後年齢と共に割合が下がっていきます。逆に、【旅行】や【映画・コンサート・美術などの鑑賞】といった趣味への優先度は、50代が高く、50代になると金銭的にも時間的にも余裕が生まれるためなのかもしれません。

お金や手間ひまをかけている事柄（化粧品とサプリメント）

さらに、トップ10にランクインしている項目で、同じ美容分野である【化粧品】と【サプリメント・健康食品】を年代別に比べてみました。



【化粧品】に関しては、20代、30代（19%）と、優先度が高くなっていますが、40代（4%）、50代（8%）と、40代から【化粧品】への優先度がぐっと下がる傾向がみられます。【化粧品】とは逆に、【サプリメント・健康食品】は、20代、30代（4%）、40代（8%）、50代（12%）と40代を境目に、上昇していきることがわかります。40代から、健康志向が高まるのか、キレイになることへのアプローチが、体の外側からだけでなく内側からへと変化していくことがうかがえます。

お钱や手間ひまをかけている事柄（ライフスタイル別、複数回答）

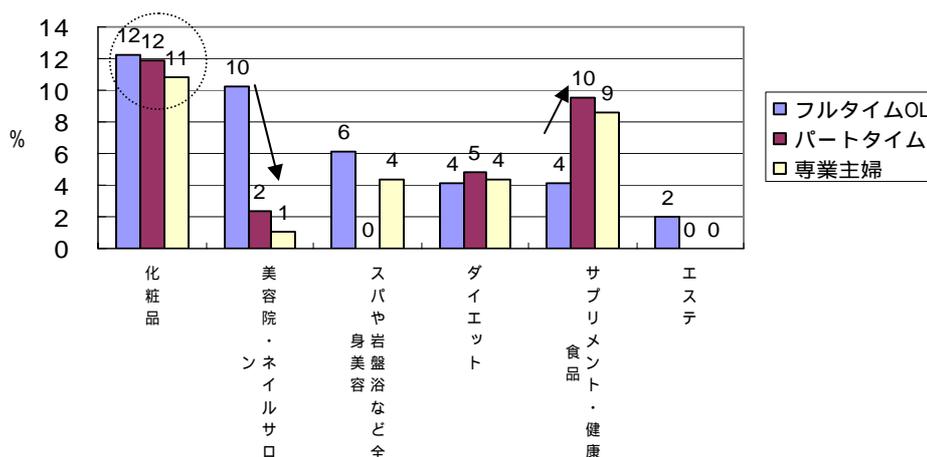
引き続き、と同じ質問を【フルタイムOL】、【パートタイム】、【専業主婦】の3つのライフスタイル別にしてみました。（【自営業】に関してはサンプル数が少ないため分析から除外しています）

| | フルタイムOL | パートタイム | 専業主婦 |
|----|-------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 1位 | カジュアルな洋服・バッグ・靴などのファッション | カジュアルな洋服・バッグ・靴などのファッション | 自宅での料理・食事 |
| 2位 | 映画・コンサート・美術などの鑑賞 | 旅行 | カジュアルな洋服・バッグ・靴などのファッション / 旅行 |
| 3位 | 話題の飲食店での食事 | 自宅での料理・食事 | 話題の飲食店での食事 |
| 4位 | 自宅での料理・食事 / 旅行 | ペット | 話題の店のお菓子など |
| 5位 | ビジネス用の洋服・バッグ・靴などのファッション | 話題の飲食店での食事 / 映画・コンサート・美術などの鑑賞 | 映画・コンサート・美術などの鑑賞 |

各ライフスタイルとも、トップ5にあがる項目に大きな差は、みられませんが、それぞれのライフスタイルに若干特徴がみられます。【フルタイムOL】では、【ビジネス用の洋服・バッグ・靴などのファッション】が5位に。また、【専業主婦】は、【自宅での料理・食事】が【カジュアルな洋服・バッグ・靴などのファッション】を抜き、一位になっています。

お钱や手間ひまをかけている事柄 美容項目（ライフスタイル別 複数回答）

引き続き、美容に対する優先度意識をライフスタイル別に比較してみました。（【自営業】に関してはサンプル数が少ないため分析から除外しています）



【化粧品】への優先度はどのライフスタイルも高い傾向にあることがわかります。また、【美容院・ネイルサロン】に関しては、【フルタイムOL】が他のライフスタイルに比べて圧倒的に高く、【サプリメント・健康食品】では、その逆の傾向が見られました。

結語

プライベートや人生の楽しみは、グルメとレジャー

【衣】【食】【住】【遊】【美】【知】の6つの分野で、お金や手間ひまをかけていることの一
位は【食】、2位は【遊】となっており、プライベートや人生の楽しみをとくに【食】と【遊】
に見出していることがわかりました。()

優先度1位はカジュアルなファッション

お金や手間ひまをかけている事柄、全29項目中【カジュアルな洋服・バッグ・靴などの
ファッション】に優先度をつけた割合が(39%)と、カジュアルなファッションへの優
先度が圧倒的に高いことがわかりました()

若い世代は外見への投資、年齢の上昇と共に内面への投資がアップ

【衣】分野への投資をみると、20代で(19%)と最も高く、50代へ向かうにつれて
数値は下がる傾向に。逆に【知】分野への投資は、20代前半(9%)だったのに対し5
0代では(13%)まで上昇していきます。自分自身への投資も、20代は、ファッショ
ンといった外見への投資が高く、年齢が高くなるにつれて知識や教養といった内面への投
資率が高まることがわかりました。()

20代は外食優先、30代からは自宅での食事を優先

【話題の飲食店での食事】は、20代が(25%)と最も高く、その後年齢が高くなるに
つれて優先度が下がります。逆に【自宅での料理・食事】は20代が(23%)だったの
に対し、30代以降、平均30%台をキープし、30代を境目に優先度が上昇する傾向が
みられました。()

40代からは、【化粧品】への優先度がぐんと下がる傾向に

【化粧品】と【サプリメント・健康食品】での優先度の変化を年代別にみると、20代・
30代は【化粧品】に対して優先度(19%)と高く、40代は(4%)、50代は(8%)
と40代から【化粧品】への意識が低くなっています。逆に、【サプリメント・健康食品】
は、40代から健康意識が高まるのか、優先度が【化粧品】と逆転することがわかりまし
た。()

ファッションへの投資は働く女性がやや高い傾向に

【衣】分野への投資は、【フルタイム OL】が(19%)と最も高く、次いで【パートタイ
ム】、【専業主婦】の順に数値が下がっていきます。若干、働く女性の方がファッションへ
の投資率は高いようです()